



同窓会報

2011

28



HANAMAKI MINAMI

●発行 岩手県立花巻南高等学校同窓会
 事務局 〒025-0053
 岩手県花巻市中北万丁目288番1
 TEL (0198) 23-4236
 FAX (0198) 23-4365
 URL: <http://www2.iwate-ed.jp/hks-h/>
 印刷 藤高士印刷

ご挨拶



同窓会長

瓜生 祐子

平成二十三年の新春のご挨拶を
 申し上げ、まずもって会員各位の
 ご多幸をご祈念申し上げます。

いよいよ今年は二十一世紀の歴史に刻まれる母校の「創立百周年記念日」を迎えることになりました。

明治四十四年に入学された一回生から、この春四月の入学生まで限られた人のみが味わう慶事に、胸の高鳴りを覚え、感無量です。

その記念事業推進のために皆様から、大変なご協力をいただき、ありがとうございます。花巻南高校同窓会の団結力は、多くのの方々からも称讃されていますので、十月一日の記念同窓会も母校の栄栄を祈り乍ら「ばんざい」を声高らかに連呼したいものです。

例年の「定期総会」は七月初旬に設定し、五月の理事会の決定事項について報告されその後事業計画等、必要な件を承認する方式です、めて参りました。二十三年度

も形式は同じですが、百周年の祝賀会と合同して行うことになりましたので、ご理解の程お願いいたします。今年度ののご案内(下記)のように実施予定ですが、少々案をお示し致します。

- ・式典は九時受付
- 開始時間は九時半(予定)
- ・記念講演(生徒むけ)
- ※式典終了後十二時

・移動(文化会館から、祝賀会々場の千秋園へ)

・祝賀会は午後二時

・同窓会は十二時開会

◎ご案内をご覧の上、各自が判断して、各回期の理事に申し込んで下さい。

協賛会では、ご来賓各位と同窓生で約六百人の参加を予定していますので、手続きをご確認の上、参加の申込みをなされますようお願いいたします。

東京スカイツリーは世界最高を誇る六三四メートルが今年の完成です。その少しずつ高くなる雄大な姿に重ね合せ、仲間のみなさんと歓喜の声を挙げたいと念じ乍ら百周年記念の年頭のご挨拶を結びます。

平成23年度定期総会開催要項

花巻南高等学校創立100周年記念式典並びに祝賀会 平成23年10月1日(土)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
花巻市文化会館 大ホール	受付	記念式典	講演会	バス輸送			
花巻温泉 ホテル千秋園			同窓会 バス輸送	同窓会 受付	同窓会総会 感謝状贈呈式 オープニング	祝賀会 (来賓・学校関係者と合流)	

- ※ 上記の時間はあくまで予定時間で、変更になる場合もあります。
- ※ 講演会は、高校生向けの内容になる予定ですが、講演をお聞きになる場合は学校関係者と同じバスが各自でご移動下さい。
- ※ 祝賀会は、会費1万円(記念誌代を含む)で、正式な申し込みは例年同様振込用紙を使用し、振込後のキャンセルはできません。
- ※ 申し込みは各理事を通して行いますが、第一次申し込み締め切りを3月31日に延期します。
- ※ 宿泊の希望も、各理事の申込書に記載するようになっていきます。(1泊朝食：前日・休前日料金、当日=5,000円)

※ 不明な点は、各理事又は、学校事務局にお問い合わせ下さい。(TEL 0198-23-4236)



創立100周年を

迎えるにあたって

校長 菊池 豊

日ごろから本校教育活動

に寄せられますご理解とご協力に心から感謝を申し上げます。

今年の干支は「卯」です。

「卯」は身近なこともあり童話や譚などにいろいろ登場しますが、総じて「すばしっこくする賢い」、「どこか抜けている」というイメージがあり、良い例えで用いられることは少ないように思われます。しかし、兎には「耳が敏感で、瞬発力があり、集団的傾向を持ち、多産系である」という優れた特性があります。今日の社会が必要としている情報力、実戦力、協働性、出生率向上など、兎の特性に通ずるところが多くあり、まさに世相を表した干支ということもでき、この一年に希望を託したい思い

がします。

〈創立100周年記念事業 について〉

本校はいよいよ今年、創立100周年を迎える大事な節目の年となります。同窓会の皆様には、記念事業推進に当たりご協力ご支援をいただき感謝申し上げます。

現在までの記念事業についてはほぼ計画どおり進んでいますが、今後の事業については募金活動状況により検討を加えながら進進してまいりたいと考えています。

主な記念事業については三頁のとおりとなります。今年度は、最大の記念事業となる人工芝運動場(1、300万円)を体育館部室前に建設し、昨年11月15日に創立100周年記念協賛会

月16日にかけて、硬式野球部、ソフトテニス部、剣道部、ハンドボール部が著名校との招待試合(硬式野球部等は花巻北高校創立80周年記念協賛会と共催企画)を開催します。現在相手校と交渉中でその日時等が決定次第、本校ホームページ上に開催要項を掲載しますので、どうぞご覧いただきたいと思います。

一昨年から同窓会の皆様には、募金活動にご協力いただき心から感謝申し上げます。昨年7月以降、一般事業所、篤志者、旧職員、現職員への募金のご依頼、そして花巻市、北上市等関係市町への協賛金要請など、創立100周年記念事業募金委員会、同窓会役員、PTA役員の皆様による募金活動が精力的に行われて

ます。全体的な成果としては昨年並みの成績となりました。

昨年度は、新型インフルエンザの対応に終始した感がありましたが、今年度は現在までほとんど発症はなく、落ち着いた教育活動が行われています。本校の特色の一つである海外ホームステイ研修は、韓国に5名、オーストラリアに10名を派遣し、また、ドイツから12名、韓国から10名を受け入れました。また、国際科学系2年が米国・ハワイ修学旅行(ホームステイ研修含む)も無事終了し、姉妹校生徒やファミリーとの交流などの異文化体験とこの国際理解を深めることが出来ました。部活動においては、運動部ではソフトテニス(女子)、体操(女子)が県高等学校総合体育大会で連覇を果たし、陸上円盤投げとともに沖縄インターハイに出場しました。また、ハンドボール部男子が新人大会で創部以来初の3位と大健闘を見せられました。文化部では特撰(女子)が県大会優勝、全国高等学校総合文化祭宮崎大会に出場するなど活躍をみせています。

進路面においては、進学率は、大学等の進学率50%、国立大学10%の目標をほぼ達成するとともに、就職(10%)においても厳しい求人状況のなか全員定まで後一步のところまで迫っています。進学、就職とも他校に比べてもよく健闘しています。

私事ですが、本校初任3年間、そして校長としての3年間、同窓会の皆様には大変お世話になりました。この3月末をもって退職となります。創立100周年を迎える歴史と伝統に輝く本校に微力ながら勤めさせていただきましたこと幸せに思っております。謹んで御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

最後に、日本一の花巻南高等学校同窓会です。この2展覧と会員の皆様のご健勝、そして創立100周年の諸事業の成功をご祈念申し上げます。

長である大石雄雄花巻市長の出陣のもと盛大に竣工式を開催しました。テブカットの後、全校生徒を前にハンドボール部とサッカー部が人工芝の感懐を確かめながら使い初めのデモンストラクションを行い完成を祝いました。また、今年10月1日の記念式典には、海外姉妹校のアニヤン外国語高等学校(韓国)のイ・チェンシル校長先生をゲストとして招待するとともに、続く記念講演会には東京外語大学学長 亀山都夫先生を講師として依頼していただきました。記念国際交流事業としては、8月26日(花南祭初日)には、花巻市文化会館で海外姉妹校3校を招聘して「国際フォーラム」と文化部のステージ発表を企画しております。また、5

月16日にかけて、硬式野球部、ソフトテニス部、剣道部、ハンドボール部が著名校との招待試合(硬式野球部等は花巻北高校創立80周年記念協賛会と共催企画)を開催します。現在相手校と交渉中でその日時等が決定次第、本校ホームページ上に開催要項を掲載しますので、どうぞご覧いただきたいと思います。

一昨年から同窓会の皆様には、募金活動にご協力いただき心から感謝申し上げます。昨年7月以降、一般事業所、篤志者、旧職員、現職員への募金のご依頼、そして花巻市、北上市等関係市町への協賛金要請など、創立100周年記念事業募金委員会、同窓会役員、PTA役員の皆様による募金活動が精力的に行われて

ます。全体的な成果としては昨年並みの成績となりました。

進路面においては、進学率は、大学等の進学率50%、国立大学10%の目標をほぼ達成するとともに、就職(10%)においても厳しい求人状況のなか全員定まで後一步のところまで迫っています。進学、就職とも他校に比べてもよく健闘しています。

同窓会と私

常任理事 葛巻 久美子(南高18回)

私が南高18回生の理事を前任者から引き継いだのは、平成十三年の事でして。(前任者と私のあいだには、お互いに頼み、頼まれたら断われないという弱みがありました。)

そしてその年の五月に開かれた、第一回理事会から理事としての同窓会との関わりが始まりました。

平成十三年といえ、今からちょうど十年前です。花巻南高等学校創立90周年に当たった年、理事一年生になったのでした。

その二年後、平成十五年当番幹事を、8回生、28回生、当日38回生と共に、務めました。

8回生の先輩の方々が中心になって進めて下さったので、とても楽しく当番幹事ができたことを今でも思い出します。

しかも、この年の出しものは、他の回期の申し出も多く、当番幹事からは、ひとつだけで良い事になり、理事の私は、少し楽をさせ

てもらいました。

それからの同窓会総会への参加は、理事としての役目も怠りがちということもあり、私は毎年出席しているもの、他に二人から五人程度でした。

来年こそはもっと大勢の同級生に声を掛けようと思うのですが、アツという間の一年です。

同窓会総会あのすばらしい懇親会を、一度も見たことのない同級生は、まだまだたくさん居ます。そして同窓会そのものにも、もっと関わってもらえる様、理事も努めなければならぬいでしよう。

平成二十年。常任理事を仰せつかり、長年交友関係にある友人に、理事を引き受けてもらいました。

常任理事として同窓会に関わり、今さらながら感じる事は、同窓会の存在の大きさです。組織がきちんと整っている事。会長の絶大なリーダーシップ。それを支える学

校サイドの担当者。役員の前後左右からのフォロー。一般同窓生はこの事を、

もっと知るべきです。知る

ためには、総会に出席すること。そのために出席しなくても多くの同級生に私たちが役員は、声を掛けていかなければならぬと思っ

ています。同窓生ではあっても、同窓会の事はよくわからなかつた10年前。今先に先輩役員のみなさんの足元にもお

よびませんが、無い力を振りしぼって、うしろからではありますが、付いて行きたいと思っ

ています。もう少しの間同窓会を勉強させて下さい。

創立100周年記念事業一覧

1	記念講演	平成23年10月1日
	講師…東京外語大学 学長 亀山郁夫氏	
2	部活動活性化	
	(1)部活動強化(対象=県入賞)平成21~22年度	
	ア 運動部…5部	
	硬式野球部、ハンドボール部	
	剣道部、ソフトテニス部、体操部	
	イ 文化部…2部	
	吹奏楽部、演劇部(指導者招聘)	
	(2)招待試合…4部 平成23年度 5月~6月	
	硬式野球部、ハンドボール部	
	剣道部、ソフトテニス部	
	(3)全国大会補助 平成21~23年度	
	(4)応援リーダー強化 平成21~23年度	
	リーダー研修(早稲田大学応援招聘)	
	チャリティーユニホーム	
3	施設設備充実	
	(1)校門(通用門)新設 平成22年3月竣工	
	(2)屋外運動場(人工芝)新設 平成22年11月竣工	
4	環境整備	教室棟南側庭園整備 平成23年度
5	国際交流	
	(1)国際フォーラム…姉妹校等3校+α 平成23年8月26日	
	(2)海外交流支援 平成21~23年度	
6	生徒会育成	平成21~23年度
	(1)生徒会活動支援	
	(2)記念企画等支援	

同窓会総会を終えて

照井 かつえ(南高15回)

22年度南高同窓会の定期総会当番幹事は、5、15、25、35、45回生です。10年に一度、卒業して3回目の当番幹事です。当番の仕事は、定期総会の受付と懇親交流会での出し物をすることです。仕事の98%は出し物に費やされます。

当番幹事の理事はまず、各クラスの代表者に連絡し集まって受付や、出し物の相談ということになるのですが、私たちの年代は親やお姑さんの介護、お孫さん

の世話等で集まることもま

まならない状況でした。有志で話し合った結果、東京で朗読劇の女優をして、いる人とインドまで行ってヨガを修得した人に行ってもらい、このことになりました。両名は、同窓会での出演を快く承諾してくれました。

定期総会の前日は15回生の還暦を祝う会がありその席上で予行演習を行いました。詩の朗読をしてくれ

た彼女は、車椅子にもかかわらず東京からこのために出席してくれました。出演者

は少なくともみんなの気持ちひとつになった出し物でした。同窓会総会にも多くは香川県から多数の人が参加してくれました。

そんなこんなで同窓会総会を終りましたが、参加者を見れば共学になってからの同窓生の参加はない様に思いました。共学校になつて20年になろうとしている現在同窓会総会のあり方も検討する時期にきているのかもしれない。

創立100周年の歴史を刻む花巻南高同窓会が益々発展するよう祈念致します。

会員より

趣味に生きる幸せ

吉田紹子

(南高2回)

「光陰矢の如し」南高を卒業して五十数年あつとうまにすぎさり、先日鶴田やす子さんから「花南同窓会報」の会員だよりに投稿してください」との御ハガキもいただき、平々凡々に生きている私など資格なしと料しました。でも参考資料の会報を拝見したら、私が尊敬している同期生の阿部美子さんが座談会に出席されているのを拝見しなつかしいいなりにペンを走らせました。記したき事いっぱいですが字数が制限されてますので私の趣味に生きたけ記します。



宮守ホールにて
「女のくぐれ」(10月17日)

だき遠野市民の方々に身にあまのおほめのお言葉をいただき宮

味を一寸だけ記します。日本舞踊を二十五年程楽しんでます。又パッチワークも同じ年数続けています。花巻文化会館でも踊らせていただき、今は老人施設等で踊りボランティアをしています。舞台にたつている間は年を忘れてヒロインになっています。パッチワークは古い和服等を利用して「めがね橋」を布絵で描いたり衝立や屏風を作り自己満足にひたつています。好きな事をしていると一日がたりない毎日です。趣味をとおして友達もたくさんふえて「我が人生に悔いなし」と思っています。

先日遠野市老連の文化祭に宮守町が舞台で42名が心ひとつに「遠野ばやし」を踊って、美しさと、そろった踊り方をみていただき遠野市民の方々に身にあまのおほめのお言葉をいただき宮

告白

藤原耕作

(南高3回)

昨年の10月に花巻市(大迫町)と友好都市交流をしているオーストリアの首都ウィーン近くの町ベルンドルフ市へ市民ツアーの一員として参加いたしました。市民ツアーは訪問団と

守町老人クラブの女性部長として心からいきがいを感じて参加して下さいました。四十二名の皆さんにお礼を申しあげました。七十四才になつても舞いで生活出来ることを私に接していただいたことすべての方々にお礼申しあげます。来年母校「創立百周年」記念祝賀会にはかならず参加させていたどうかと今から楽しみに待っています。

は遠い観光目的でしたから連日ウィーン市内の観光を楽しんで参りました。出発前は旅行日程を見て宮殿とか寺院、修道院見学など日本ではお城、神社仏閣廻りの感じでありました。期待していませんでしたが、町そのものが世界遺産というところ、見慣れない風景の目新しさも手伝つて至る所にある彫刻や絵画、あふれる音楽、芸術の都のすばらしさ、これが数百年も同じ状態で保存されていることへの驚き、思い切つて参加して良かったと思います。



「このクラス

に花巻地区で一番の88点の人がおります。すごいことです」先生はそう言つて答案を席順に渡し始めました。二年の2学期が終わる頃だったと思う。日報の学力テストと云うのがあり進学組のほとんどもは受けていたと思う。私も答案を受け取つて席に戻り開いて見てびっくり、なんと88点ではないか。

私は社会という科目をあまり得意としていなかったけれど、この先生の受け持つ人文地理だけはいつも楽しく、先生のお話は全て聞き逃すまいと大きな耳と目で吸収したいと思つた。私達はこの先生のことをサザエさんとニックネームで呼んでおりました。髪型がや、マンガのサザエさんに似ていること、顔もそう言つても誰も異論のない愛らしいユーモアな感じがたのしみです。それを苦労とは思わないで出来たのはサザエさんの存在があったからだと思います。そして今年業して55年も経つのに世界地図がオーストリアの地図が私の頭の中

にまだ生きていることを知り嬉しくなつてまた地図を開いて楽しんでおります。南高校でなかったら会えなかったサザエさん、サザエさんに会えなかつたらどんな人生だったのかな。今は南高校で良かったと心から思つております。サザエさんありがとう。

感謝の気持ち

稲田 雪恵
(南高50回)



である齋藤眞弘先生のご自宅に下宿をさせて頂きながら、陸上中心の毎日を送っていました。私が入学した当時の花南陸上部女子長距離は、毎年全国各地から出場しており県内各校から集まった強い先輩方や同級生が沢山揃っていました。日常の練習からチーム内争いが激しく、仲間には負けない為には練習だけでなく私生活においても油断は許されませんでした。

3年間の高校陸上生活の中で1年、3年の時に京都で行われた全国高校駅伝に出場しました。しかし2年の1度だけ駅伝の県予選でアクシデントにより優勝できず、3年連続全国駅伝出場を逃してしまいました。

花南南高校を卒業して8年。昨年1月、教員という立場で再び花南の校舎へ戻ってくる事ができ大変嬉しく思います。生徒として見てきた校舎と現在職員として見る校舎、当時の自分を振り返り楽しかった思い出と同時に後悔や複雑な気持ちも蘇ります。

私は陸上部に所属し、親元を離れ当時の陸上部監督である齋藤眞弘先生のご自宅に下宿をさせて頂きながら、陸上中心の毎日を送っていました。私が入学した当時の花南陸上部女子長距離は、毎年全国各地から出場しており県内各校から集まった強い先輩方や同級生が沢山揃っていました。日常の練習からチーム内争いが激しく、仲間には負けない為には練習だけでなく私生活においても油断は許されませんでした。



全国高校駅伝(平成14年)

たのを覚えています。自分の失敗が周りに迷惑をかけた事で齋藤先生や応援し支えて下さった保護者の方々や仲間には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。しかし、この失敗を経験し気付いた事や学んだ事は沢山ありました。自分を責め落ち込む私に両親をはじめ保護者の方々や部員など周囲の方々が笑顔で「よく頑張ったね」「襪を繋いでくれてありがとう」という言葉を掛けて下さいました。自分は自分が思っていた以上に色々な人々に支えられ、沢山の人の応援して貰って

いた事に気付きました。またこの失敗をきっかけに本気で陸上向き合うことができ、精神面も成長できました。

卒業後は大学、実業団で陸上を続け、全国入賞も何回果たし沢山の経験と積み重ねてきました。花南での陸上生活があったから実業団まで走り続けられたのだと思いますし、最高の仲間と巡り会い陸上競技の楽しさや素晴らしいに気付くことができました。

3年間で私は全国高校駅伝に2度出場しました。全国大会に出場するにあたり同窓会の方々や地域の方々など沢山の方から支援を受けて頂きました。先生方や同窓会の方々には駅伝出場に関わる費用などの募金活動をして頂き、また京都まで足を運び応援に来て頂きまして本当にありがとうございました。沢山の支えがあり、私たちは京都で走る事ができたことに本当に感謝をしております。この感謝の気持ちを持ちつつ、母校へ恩返しできたと思っております。

現在教員として花南に戻りましたが、今の生徒達は部活と学業の両立をしつつ行っており校内での挨拶も非常に明るく、自分の高校時代に比べ校舎内での雰囲気がとても良くないと思

います。ただ、もともと自分の意志をしつかり持ち周りに感化せず、人に流されない強い気持ちを持つて欲しいと思います。私の中で「高校時代にもっと頑張つて勉強をしておけば良かった」という後悔があります。後輩である生徒達には「あの時ももっと頑張れば良かった」と後悔する事はないように、常に目標を持ち、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れたいと欲しています。最後に私は花南で3年間走れたことを誇りに思います。同じ目標に向かい一緒に全国を目指した仲間や、支えて下さった周りの方々

に本当に感謝をしておりま

平成23年2月28日制定
創立100周年記念
『花南讃歌』

作詞 前川和男
作曲 杉村俊博

一、青き柳に若きあり
城址にたつわが校舎
自立の心究めんと
高女われしなやかに
肩高くして進みゆく
歴史百年今ここに

二、青き山なみ光あり
時鐘は響くわが校舎
自律の気概究めんと
花南われしなやかに
足並みともに進みゆく
歴史百年今ここに

三、垂り穂の波に桜あり
万丁目原のわが校舎
共学の究めんと
花南われしなやかに
手を携えて進みゆく
歴史百年今ここに

同窓会では創立100周年を記念して花南讃歌を作りまして、編成して花南讃歌では大合唱考の練習会を5月7月の月2回程度(10/10/14)14:00~16:00の総練習会を8/20(土)14:00~16:00の総練習会を希望者(TEL・FAX 0198-23-5601)までご連絡下さい。

創立100周年記念同窓会寄付金協力者追加芳名簿

- | | | | | |
|------------|---------|---------|--------|-----------|
| (高女33・34回) | 伊藤 蓉子 | (南高8回) | 藤原 タカ子 | 佐々木 智恵子 |
| (高女35回) | 及川 智栄 | (南高9回) | 秋山 裕美 | |
| | 小原 京子 | (南高25回) | 高橋 陽子 | 久美子 |
| | 照井 孝子 | (南高11回) | 鎌田 光子 | 伊藤 和恵 |
| | 高橋 キエ | (南高10回) | 及川 佳哥 | 伊藤 秀子 |
| | 柳田 清子 | (南高35回) | 及川 悦子 | 喜古 千栄 |
| | 鈴木 木京子 | (南高14回) | 菊池 悦子 | 吉田 千栄 |
| (高女36回) | 玉山 ユキ | (南高14回) | 木立 洋子 | 中村 佳寿美 |
| (定時制29年度卒) | 照井 浩 | (南高37回) | 山藤 照子 | 下浜 千賀子 |
| (定時制33年度卒) | 菱川 怜子 | | 佐藤 悦子 | 五十嵐 桂子 |
| (定時制37年度卒) | 岳間沢 コマ子 | | 藤原 照子 | 高橋 朱里 |
| (定時制41年度卒) | 吉原 恭子 | | 山口 厚子 | |
| (南高1回) | 下坂 久美子 | (南高15回) | 石崎 誠子 | 高女26 佐藤フヂ |
| (南高2回) | 吉野 留子 | | 川内 律子 | 志田恵子 |
| | 菅野 秀介 | | 内藤 富美子 | 南7 瀬戸恵美子 |
| | 及川 英子 | | 佐藤 文子 | ↓石井恵美子 |
| | 山影 純子 | | 高橋 タイ子 | 高女22 高山ヨシ |
| | 高山 由紀子 | (南高3回) | 中澤 優子 | 南2 田村 優子 |
| | 高山 アツ子 | (南高16回) | 佐藤 明子 | ↓1回生 |
| | 馬場 英紗子 | | 武田 洋子 | 南15 高橋タマ子 |
| | 八重 隆 | | 昇 昇 | ↓小坂タマ子 |
| (南高4回) | 加藤 由紀子 | (南高2回) | 藤田 満和子 | |
| | 岩淵 タイ 馨 | (南高2回) | 高橋 幸子 | |
| (南高6回) | 佐々木 伸子 | | 高橋 久子 | |
| (南高7回) | 松崎 欣子 | | 江端 祐子 | |
| | | | 小原 朋子 | |
- 協力者芳名簿・訂正
高女36 工藤恵子
高女26 佐藤フヂ
南7 瀬戸恵美子
↓石井恵美子
高女22 高山ヨシ
南2 田村 優子
↓1回生
南15 高橋タマ子
↓小坂タマ子
- 御芳名は敬称略、順不同に掲載いたしました。
- ※寄付金は、平成23年8月31日まで受け付けますので、よろしくお願ひします。

事務局だより



瓜生同窓会長 「岩手県私学教育表彰」受賞記念祝賀会



内田スワさん 「法務大臣表彰」祝賀会

〈同窓生名簿の販売〉

創立百周年を記念して昨年度発行された同窓生名簿の残部が若干ございますので、希望される同窓生に販売いたします。(1冊三、六〇〇円)。名簿発行は今回で最後なので、この機会にぜひ購入下さい。

申し込み・同窓会事務局 TEL0198-23-4236

平成二十二年度 同窓会事務局日誌

- | | | |
|-----|-----------|----------------------------------|
| 23年 | 3月22日(火) | 同窓会報第28号発行
転出者送別会 |
| | 3月1日(火) | 卒業式
同窓会報第28号発行 |
| | 2月28日(月) | 同窓会入会式
花南讃歌披露 |
| | 2月27日(日) | 臨時常任理事会
100周年記念「花南讃歌」贈呈式 |
| | 1月14日(金) | 第2回同窓会報編集委員会 |
| | 1月8日(土) | 役員会 |
| | 12月12日(日) | 同窓会報座談会 |
| | 12月5日(日) | 第2回理事会 |
| | 11月20日(土) | 瓜生会長「私学教育表彰」祝賀会 |
| | 11月26日(金) | 「創立100周年記念同窓会寄付金
協力者名簿」郵送準備作業 |
| | 11月12日(金) | 人工芝竣工式 |
| | 11月4日(木) | 第1回同窓会報編集委員会 |
| | 10月24日(日) | 盛岡支部総会 |
| | 10月18日(日) | 第2回常任理事会 |
| | 10月7日(水) | 役員会 |
| | 8月6日(金) | 総会反省会 |
| | 7月13日(火) | 全国大会出場部激励会 |
| | 7月11日(水) | 定期総会(ホテル千秋園) |
| | 6月27日(日) | 支部総会(東和・石鳥谷・北上) |
| | 4月28日(水) | 総会準備会 |
| | 4月16日(金) | 会計監査 |
| | 4月11日(日) | 東京支部総会 |
| | 4月7日(木) | 入学式・新任者歓迎会 |
| | 4月2日(金) | 役員会 |
| | 4月1日(木) | 役員会 |

いろいろなアイデアを出し合い楽しく交流が出来るよう工夫して活動を続けています。



盛岡支部第1回設立総会

【箱崎光子さん(石鳥谷支部長)】

石鳥谷支部の会員は、約700人と言われています。郵送費相当額の会費をいただいております。年100円、2年ごとの総会ですの200円をお願いしております。毎年田植えが終わった頃の6月に総会を開きます。会場はいつも、同窓会が経営しております「新亀家」さんでやっています。総会の周知は、連絡員さんを決めまとも

らいます。

支部は、瀬川ハナさんと佐藤まつさんが来られまして、指導があつて始まったと記憶します。会員名簿をつくりましたことが、平成16年に不都合なことがあり取りやめました。その後、3月の卒業期に学校にお願いして卒業生名簿をもっているので事務局にはあります。支部創立から苦勞をおかけした方々がありますので、100周年の前年であり今年には、同窓会員で99才の方に紅白の餅をお祝いに差し上げました。会員には「白寿99年」を記念して記念のフアイルを作成し配りました。総会に出席なさらなかった方にも班長さんが、餅と資料を持って訪問し手渡しして配りました。班長さんには、ご苦勞の粗品を差し上げております。支部交付金を有効に活用しております。

【藤井安子さん(東和支部長)】

東和支部は、平成3年に結成されました。小原前支部長さんが16年間つとめら

れその後、私が引き継ぎま

した。支部は、今年21年目になります。支部長になつて規約を見直し、東和に合った改正をしました。改正では、88才になられた会員にお祝いのご遺族に弔電を送ることを決めました。早速、米寿の方にお祝いを申したところ、たいへんよろこんで頂きました。この方は、毎年同級会をしているそうですし、100周年の記念行事に3人が参加する予定です。又、東和支部では学年ごとに参加者を募りバスで参加を計画しています。

【司会者】

支部長さんからひと通りのお話を伺いました。ここで、前会長で顧問でございます箱崎様、そして瓜生会長さんから、同窓会本部で役員を務められた歩みをお話し頂きます。

【箱崎敦子さん(同窓会顧問)】

私が同窓会の役員に関わるようになったのは、60周年の式典が終わつた後

のことでした。当時、会長

は小原リセさんでした。そのあと、瀬川ハナさんが2代目の会長で佐藤まつさんが副会長、役員さんには花巻で名の知れた立派な方々がおられました。ある時、瀬川会長さんから、「ちよつと学校に顔を出してちょうだい」と言われ、初めて出かけました。そこは同窓会の理事会の場でした。会長さんと理事さん方は、私の母親の様な存在の方々でした。私に、「副会長になるように」と、突然のお話でした。辞退する言葉も出さず引き受けました。

【瓜生祐子同窓会長】

同窓会長としてご挨拶を兼ねお話しします。本日は本当にありがとうございます。なにかと支部長さんにご苦勞をいただいております。謝申しあげます。

【瓜生会長】

役員になった経緯は、箱崎さんがお話されましたとおり、私も同じ路を歩んできました。共に副会長と会長を経験した者として

一つは、毎年7月に行う定期総会に、300人を超える

の会員が集い、中身の濃いプログラムが組まれた企画があることです。他校には真似の出来ない南高独特な発想と個性が息づいていることですね。活動の中で印象深いことは、全日制と定時制の同窓会を統合し一本化したこと。女子が全国女子駅伝の出場を決め、京都大会に同窓会から応援に行つたこと。国際科が生まれ国際交流活動を支援してきたこと、等等です。

【司会者】

後半は、100周年への取り組みと今後の活動について所見をお伺いします。

【瓜生会長】

100周年記念事業に対する同窓会の取り組みは、①「募金活動に多くの会員が参加し目標達成させること」、②「母校意識を高め、記念事業に参加すること」、③「式典・祝賀会を成功させるために周知と点検をし

いこと」を、全うすることに努めてきました。ですから支部長さん、役員・理事・会員の皆さんに無理を強いることもあり、100周年事業に関しては味更きつて要請をしているところ

です。高女時代の校風を受け継ぎ、伝統校の校に恥がない「花巻南高等学校100周年記念事業」を成功させることは、同時に同窓会活動の集大成でもあります。皆さんから評価されるよう努力することが、私に課せられた使命と思ひ会員の皆さんや市民の皆さんにお願いしている毎日です。

【司会者】

100周年記念事業に対する同窓会の取り組みは、①「募金活動に多くの会員が参加し目標達成させること」、②「母校意識を高め、記念事業に参加すること」、③「式典・祝賀会を成功させるために周知と点検をし

【瓜生会長】

100周年記念事業に対する同窓会の取り組みは、①「募金活動に多くの会員が参加し目標達成させること」、②「母校意識を高め、記念事業に参加すること」、③「式典・祝賀会を成功させるために周知と点検をし

つかりやること”です。

①の課題は、年齢層が若
いほど協力度が低いこと若
す。②については、1000
周年記念を周知させるため
会報の有効利用を考え、会
報の会長挨拶を別愛して目
に付くよう編集願います。

③は、卒業年次の担当同期
の取り組みと理事の積極的
な働きかけが大切ですので
徹底を図ります。特に花巻
地区の対策が必要です。

会員の皆さんには、支部
の支部数や地域の事情を考
慮して頑張ってください。支
店として活動していただい
ております。支部長さん
は募金専門委員にもなっ
ておりますので、募金委員
の指示と併せ、会員の募金
協力についてご配慮いただ
くことを願っています。

今後の同窓会のあり方を
考えますとき、高女時代が
35年、南高時代になって65
年が経過していることを認
識して欲しいことです。今
までは、高女の人達が会長
をつとめて来ましたが、1
00周年後の運営は、南高
校時代に籍を置いた人達が
主体になるべきです。

校に対する意識が高く、母
校愛が強いことも確かです。
しかし、所詮、世代交代
が世のなりでありまして
から、先輩たちの気持ち
が継承し活動することを期
待しています。旧花巻市内に
おける活動については、会
則上、規定の組織ではあり
ませんが、支部組織の形
を整えてありますので、ど
の様に機能組織とすべきか
検討したいと考えています。

卒業時には、学校の配慮
により学級ごとに委員を決
めていただいています。そ
の後、きめ細かい情報提供
や会合等を持っていません
ので、対応を考える必要が
あります。肝腎なことは委
員になっていない人達が、
会に参加し易い環境をつ
くることが考えます。在学
中に入会金を2,000円
納めてくれているのですか
ら、可能な限り会報をど
けることを考えたいので
すが、予算措置が可能かど
うか検討する必要があります。

校に対する意識が高く、母
校愛が強いことも確かです。
しかし、所詮、世代交代
が世のなりでありまして
から、先輩たちの気持ち
が継承し活動することを期
待しています。旧花巻市内に
おける活動については、会
則上、規定の組織ではあり
ませんが、支部組織の形
を整えてありますので、ど
の様に機能組織とすべきか
検討したいと考えています。

卒業時には、学校の配慮
により学級ごとに委員を決
めていただいています。そ
の後、きめ細かい情報提供
や会合等を持っていません
ので、対応を考える必要が
あります。肝腎なことは委
員になっていない人達が、
会に参加し易い環境をつ
くることが考えます。在学
中に入会金を2,000円
納めてくれているのですか
ら、可能な限り会報をど
けることを考えたいので
すが、予算措置が可能かど
うか検討する必要があります。

校に対する意識が高く、母
校愛が強いことも確かです。
しかし、所詮、世代交代
が世のなりでありまして
から、先輩たちの気持ち
が継承し活動することを期
待しています。旧花巻市内に
おける活動については、会
則上、規定の組織ではあり
ませんが、支部組織の形
を整えてありますので、ど
の様に機能組織とすべきか
検討したいと考えています。

卒業時には、学校の配慮
により学級ごとに委員を決
めていただいています。そ
の後、きめ細かい情報提供
や会合等を持っていません
ので、対応を考える必要が
あります。肝腎なことは委
員になっていない人達が、
会に参加し易い環境をつ
くることが考えます。在学
中に入会金を2,000円
納めてくれているのですか
ら、可能な限り会報をど
けることを考えたいので
すが、予算措置が可能かど
うか検討する必要があります。

校に対する意識が高く、母
校愛が強いことも確かです。
しかし、所詮、世代交代
が世のなりでありまして
から、先輩たちの気持ち
が継承し活動することを期
待しています。旧花巻市内に
おける活動については、会
則上、規定の組織ではあり
ませんが、支部組織の形
を整えてありますので、ど
の様に機能組織とすべきか
検討したいと考えています。

卒業時には、学校の配慮
により学級ごとに委員を決
めていただいています。そ
の後、きめ細かい情報提供
や会合等を持っていません
ので、対応を考える必要が
あります。肝腎なことは委
員になっていない人達が、
会に参加し易い環境をつ
くることが考えます。在学
中に入会金を2,000円
納めてくれているのですか
ら、可能な限り会報をど
けることを考えたいので
すが、予算措置が可能かど
うか検討する必要があります。

校に対する意識が高く、母
校愛が強いことも確かです。
しかし、所詮、世代交代
が世のなりでありまして
から、先輩たちの気持ち
が継承し活動することを期
待しています。旧花巻市内に
おける活動については、会
則上、規定の組織ではあり
ませんが、支部組織の形
を整えてありますので、ど
の様に機能組織とすべきか
検討したいと考えています。

卒業時には、学校の配慮
により学級ごとに委員を決
めていただいています。そ
の後、きめ細かい情報提供
や会合等を持っていません
ので、対応を考える必要が
あります。肝腎なことは委
員になっていない人達が、
会に参加し易い環境をつ
くることが考えます。在学
中に入会金を2,000円
納めてくれているのですか
ら、可能な限り会報をど
けることを考えたいので
すが、予算措置が可能かど
うか検討する必要があります。

校に対する意識が高く、母
校愛が強いことも確かです。
しかし、所詮、世代交代
が世のなりでありまして
から、先輩たちの気持ち
が継承し活動することを期
待しています。旧花巻市内に
おける活動については、会
則上、規定の組織ではあり
ませんが、支部組織の形
を整えてありますので、ど
の様に機能組織とすべきか
検討したいと考えています。

卒業時には、学校の配慮
により学級ごとに委員を決
めていただいています。そ
の後、きめ細かい情報提供
や会合等を持っていません
ので、対応を考える必要が
あります。肝腎なことは委
員になっていない人達が、
会に参加し易い環境をつ
くることが考えます。在学
中に入会金を2,000円
納めてくれているのですか
ら、可能な限り会報をど
けることを考えたいので
すが、予算措置が可能かど
うか検討する必要があります。



【藤井安子さん】

【稲崎光子さん】

【齋藤澄子さん】

【堤 世知子さん】

盛岡支部の課題は、会員
が1,000人に届くだけ
の人達がおりますが、総会

の参加者は100人前後です。もっと多くの参加者にするための対策をすることです。市域が広く、散らばっておりますので、大先輩が遠くから出席する時など、その対策も同時に考えなければなりません。同窓会報を全会員に頒布するには郵送しかありません。郵送費を捻出することを支部でも考えますが、基本的には本部が予算措置してくれることを希望します。支部総会に男性の方の参加が少な

いのです。南高4回生以上の卒業生と定時制の方しかおりません。絶対的に少ない訳ですから、女性主体にならざるを得ません。又、新校舎になり男女共学になった80周年以降(男女共学からの)の卒業生は把握出来ていません。新しい同窓会名簿で調べはつきましようが、男性の呼びかけは難しいことですね。

【箱崎敦子さん】

子育てが終わった時期には、高校だけでなく小中の同級生の集まりがまっています。南高4回生以上の同級生を持つよう同窓会から緩やかに誘導することも考えられます。一つには、総会の時期に併せるとか、特に厄年や年祝いの節々には、小中の同級、高校の同級の集まりがあるはずですからそうしたいタイミングを大切にしてほしいです。

【司会者】

100周年記念事業を終えた後の活動のあり方のお話がありました。若年層の会員の参加を増やすには、どうすればよいか、特に、男性への呼びかけの難しさを

【瓜生会長】
学年ごとのまとまりがあるかどうかが決手になるのではないのでしょうか。学年同志の結びつきや仲間意識は、担任の先生の影響をうけている感じがします。勉強の他に、社会教育的視点からの教えが必要だと思います。同級生仲間の絆を大切にする点、母校に感謝する心を育むような先生からの一言を卒業する際に触れていただくことをお願いしたいと感じています。

も課題であるようです。ここで校長先生から、これまでのお話を聞きかしての感想と助言をお伺いします。

流になつていふこと。他校にない優れた存在の同窓会です。男性の参加のことは、男性自身の意識を引

き出す工夫が必要ですが、クラブ活動で育んだ仲間意識と連帯感の絆を引き出すことを計画的に企画すればその機運は醸成されていくと思えます。また、PTAの役員をしている同窓の方

奇稿
南高同窓会東京支部を振り返つて
東京支部長 矢野光子(南高8回)
昭和28年11月29日、岩手県花巻市ノ花会の東京支部として東京本ノ花会第1回総会開催。会費2000円、参加者23名。初代会長松岡幸氏とのことです。

【菊池校長先生】

花巻南高同窓会の特徴は、先輩後輩の絆をこえ、母校を計画的に企画すれば

第14回目の総会で簡井フジ氏就任、132名もの参加者をみたそうです。

この頃の思い出が会費を出すのは大変でしょう。

「若い貴方たちが会費を出すと、当時仕出しのお弁当に、お味噌汁は自分たちで温めて出していたのですが、慣れないお運びをしたものでした。気さくなアットホームの感じがした会でした。」

第22回総会で3代新井榮氏、第35回4代竹内英子氏、第38回5代富沢明子氏、第44回6代速藤カツ氏、第45回7代山口妙子氏に就任。47回総会で(平成12年)現在の「岩手県立花巻南高同窓会東京支部」に改名

理事制の確立となりました。在籍、高女卒150名、南高卒563名との記録が

き出す工夫が必要ですが、クラブ活動で育んだ仲間意識と連帯感の絆を引き出すことを計画的に企画すればその機運は醸成されていくと思えます。また、PTAの役員をしている同窓の方

今後の支部活動問題としては、高齢のため高女の方々の退会があります。また、若い会員の入会を望んでいるもの、只今は年に1人程度に留まっております。毎年春の総会時に本校から校長先生や会長さんがお出かけ頂いていきます。その際には新卒者の名簿を頂戴するのですが、その時点では東京の住所が分からず、連絡の取りようがないのが現実です。また、40代、50代はお仕事を持たれている方が多く理事を引き受けていただけたいということも問題の一つです。

それは、青春を振り返り、ふるさとの思いを語る場として現状維持にとどまらず、一人でもお仲間を増やしたいと念じています。そしてこの気持ちで次の世代にバトンタッチするまでがお役目と思っております。



第22回総会で3代新井榮氏、第35回4代竹内英子氏、第38回5代富沢明子氏、第44回6代速藤カツ氏、第45回7代山口妙子氏に就任。47回総会で(平成12年)現在の「岩手県立花巻南高同窓会東京支部」に改名理事制の確立となりました。在籍、高女卒150名、南高卒563名との記録が

支部だより

東京支部

副支部長 角田早致子
(南高16回)

平成22年度の東京支部総会は4月11日に上野・精養軒で開かれました。4月としては41年振りに雪が降った東京でしたが、その日は晴天に恵まれ、上野の山も大賑わいでした。

会員は4名の高女卒の先輩を含め58名の出席、母校から菊池校長先生、瓜生同窓会会長、小瀬川副会長、鎌田副会長、事務局の佐藤、葛尾両先生をお迎えし盛會となりました。



総会は矢野支部長の歓迎の挨拶に始まりました。菊池校長先生の挨拶では、インフルエンザの流行は母校も例外ではなく生徒たちを直撃。幸い皆軽かったとの報告に一同胸をなで下ろしました。創設1百周年への挨拶は、続いて瓜生会長の「花巻をユーモアあふれる花巻弁で話して下さいまし

た。議事においては、活動報告、会計報告、会計監査報告と滞りなく無事終了いたしました。

第二部は待ちに待った懇親会。小瀬川副会長から乾杯のご発声をお願いして、談話が始まりました。今年の当番幹事21回生6名による全員参加のジャンケン大会は「最初はグー、ジャンケンポン」と盛り上がり大興奮でした。続いてのアトラクションは雰囲気急に変わり、パリトン歌手の古川精一氏によるミニコンサート。前支部長、山口さんのプロフィール紹介によりまずと、古川氏のお父さまは

花巻のご出身で大変花巻にご縁のある方でして、12年間ヨーロッパで活躍され、近年はコンサートや歌唱指導をしていらつしやいます。ピアノの斉藤菜緒さんの伴奏で幕は開きました。前半は日本の歌「早春賦」などしつと。後半は「帰れソレントへ」を始めイタリア歌曲を、全員が聞き入りました。アンコールの宮沢賢治の「精神歌」では胸に込み上るものがありました。その余韻も覚めやらぬ内にフィナーレの恒例の「東京音頭」が始まりました。矢野支部長の指導で全員輪になり、体をほぐしました。

最後は旧校歌を全員姿勢を正し歌いました。限られた時間でしたが、



懐かしい友と語り合い、笑い、来年の再会を約束し閉会となりました。来年90歳を迎えられる静岡の御殿場からおひたりで出席された松尾様、「来年も来ますね」と指切りをして下さったのが印象に残りました。

北上支部

支部長 八重樫勳子
(南高2回)

北上支部は、二年に一度開催する支部総会を、平成二十二年六月二十七日、ホテルシティプラザ北上にて行いました。当日は語行事と重なり、例年に比して参加者が少なく三十名でしたが、来賓として瓜生会長、鎌田副会長、及川先生をお迎えして、例年通り、総会、講演、懇親会が行われました。

(一)総会
母校百周年を迎えるに当たることが会長よりお話いただき、協議では、重点事業、予算、決算、役員改選等話し合いました。その席上不肖私が支部長の役を頂きました。

会員皆様のご支援をたよりに、同級生の絆を深

め、友情を暖め、母校の応援、発展に繋がることを願って、役を務めたいと思っております。

(二)講演
市内永明寺住職の上野昌孝氏による「生かされて生きる」という題にてお話を頂きました。

その要旨は
最近は何が増えて心が減っている。物より心が大切である。心が「方寸」(胸のペトペトにある)にあれば、常に平静でいられるが、方寸に居られなくなる。「頭にのぼり」「頭にきた」となる。その心が昂じると「切れた」という事になる。切れてしまえば、心が離れ、殺伐な事件が後を絶たない。心が切れてしまわない様に「臍下丹田」に持つゆくと「腹の出来た人」となる。そして「足心」心を足元につけた暮らしをし、「板に付く」暮らしをして欲しい。「語行無常」の世界にあり、人はあらゆる物の「いのち」をもらって生きており、数え切れない先祖の命を頂き、生かされて生きています。

「終り良ければすべてよし」と云われるが、各人にとり、今が人生のクライマ

ックスである。終りが良くなるように心静かに、感謝の心を持って生きる気持ちで、深く行きたい。と結ばれ、深く心に沁みのお話でした。

(三)懇親会
開幕は、斎藤澄子前支部長の格調高い祝舞に始まり詩吟、独唱、自己紹介等で交流を深め、フィナーレには、出来たてのほやほやの「花巻南高同窓会音頭」(瓜生会長作詞)を一同、輪になっておどり、歌手の藤原耕作さんの生の声で盛り上がり、心身がほぐれるようでした。

現代の忙しく、殺伐とした世相の中で、この日は心あたらず、楽しいひとときを過ごすことができました。次回にはもっとたくさんのお窓生が参加して下さいました。

この総会を開くに当たり、二十二年の年明けより、名簿確認、資料つくり、準備会等、前回の役員会、係会を行い、又、終了してから反省会を行って、次回に備え、親睦も深めております。今回は、庶務を担当して下さいました菊池豊江さんが、役を辞任された後も、名簿



石鳥谷支部

支部長 箱崎光子
(南高4回)

花南同窓生のみな様、こんにちは。石鳥谷支部でございます。当支部は二年に一度の支部総会でございます。平成二十二年六月二十七日(石鳥谷町内、新亀家)ご夫妻は、花南三回、六回)にて総会をいたしました。

今年にはたまたま、北上支部、東和支部、石鳥谷支部と、同日同時に開催されましたので、同窓会本部と学校側でご出席の人選配分にご苦労なされたようです。

の見直しをして下さり、総会案内を出すべく支部委員の逝去、転出、転入、住所変更など確認整理をして、冊子をつくり、総会の内容、役員の変遷等につき、記録をまとめて下さり、今後の支部活動の事務がスムーズに行われるように、地味な仕事を有りがたうにたい事をもとても有りていた役員一同感謝しております。

今年の一月三十日には、役員の新年会を行う予定にしており、楽しみながら、今後の支部会の方向を定めることとしております。

同窓生が若くなる程、参加者が少なく、支部の活性化をどのようにするかが、課題となっております。

同窓生の中澤優子様の三人のクラシックから演歌までの演奏となつかしい旧友の語りで楽しひひと日をすごしました。藤井邦子様

より、南高同窓会音頭(作詞、瓜生祐子)のおどりをなおそわり、参加者三十名輪におおりました。参加者のパワーで百周年記念行事が成功しますよう祈って散会となりました。

平成二十三年に母校が百周年をむかえます。明治四十四年花巻町花城に開校して平成二十二年、九十九年白寿をむかえました。節目でございますので、石鳥谷支部の役員一同が考えて考えました。

祝 花南高等専門学校創立百周年
花南同窓会、石鳥谷支部

と刻字の入ったA4クリアファイルを作成して、記念品として全会員五五〇名に配りました。

又懇親会の席には、鮎白寿として紅白のおもちを用意致しました。当日ご高輪でご参加出来なかつた会員様にも、会終了後、役員で手わけしてさしあげました。

石鳥谷支部は昭和四十年に創設されております。初代の会長は故橋澤潤子様

(高女十四回)二代園テイヤ子様(高女二十回)三代故金子様(高女三十回)四代鈴木陽子様(南高五回)そして箱崎(南高四回)で

す。創設当時、本部より瀬川ハナ様、佐藤まつ様の、杏掛様らが新亀家につきまわって、同窓会にかける熱意を話してくれました。又佐々木そは屋の二階で名簿作りやいろいろ相談したことなつかしく思い出されます。

百周年の月日の重さと、先人のご苦労に感謝の心をこめて、私達の青春の夢をつむいでくれた母校が、新しい一〇〇年にむかつてあります。



盛岡支部

支部長 堤 世知子
(南高2回)

平成二十二年の盛岡支部総会は、十月二十四日(サニール盛岡)において開催されました。

参加者は、女学校三十回生から南高十九回生までの八十六名と学校から副校長菅原英藤先生、同窓会事務局長佐藤雄先生、同窓会副会長長尾藤子様、副会長小瀬川陽子様、鎌田里子様、監事石川映代様をお迎えし総勢九十二名でした。

総会の挨拶では、副校長先生から学校の様子、後輩の学校生活、部活動での活躍、創立百周年記念事業の進行状況などが話されました。その後、参加者が各回毎に紹介され、事業や決算についての報告が承認されました。今年度は、役員改選の年にあたり、長い間副支部長として活躍された田高恭子さん、会計監事の平野ひささん、幹事会計の江森豊子さんが幹事やめには新し副支部長に黒川俊子さん、会計監事に川村富喜さん、幹事庶務に続橋マリアさんが決まりました。

その後、当番の十二回生により懇親会が進められました。同窓会長の瓜生様から百周年を盛り上げるために「同窓生として私達のできることは」と力強くご挨拶いただきました。

多田芳子様の乾杯の発声でもじまりました。今までの長テールから丸テールになったことで、おいしい食事をいただいたながらの会話はずみ、楽しい笑い声があちこちから聞こえてきました。会食が一段落したところで仙台在住の藤原寛子様(南高十二回生)をお迎えし「毎日の生活の色つぼく」をテーマに講演していただきました。ステージのスクリーンに色を写し出し、具体的な例をあげながら、色の効果、色から連想される感情、色の対比、明度、彩度、補色、面積、同化現象、色の性格、色から受けるイメージ、軽い色と重い色、興奮色と沈静色、進出色と後退色、膨脹色と収縮色、時間を長く感じる色と短く感じる色などを説明し、毎日の生活に色を取り入れることの大切さ、例えば、食生活では七色バランス健康法、インテリア

なら部屋の目的に合った色づかい、ファッションでは、若々しく見える色、暗く見える色など例をあけてお話しされるなど。好きな色と似合う色の使いわけなど、参考になることが多く、色使いの大切さを感じました。



その後、余興が始まり、堤の太極扇、みんなが楽しみにしている吉田さんの「エアロビック」です。音楽に合わせて、軽く体を動かし、その後で、LOVE Eを作ったり、グーパーと手開いたり閉じたりしながら左右に動かし、頭の出来ないどうすれは、と頭の体操も楽しみました。来賓の方々にも合唱していたので、最後に全員で輪になって、同窓生音頭と盛岡音頭を楽しく歌い踊りました。旧校歌を歌い来年の当番十三回生を紹介し、今年の当

番十三回生に感謝し、来年十月三十日、またこのサンセールでお会いしましょうと、一日の行事を終えました。

東和支部

会 計 小原嘉寿子

(南高9回)

平成二十二年度東和支部定期総会は、六月二十七日(旧)午前十時より「パレスまほろば」に於て行なわれしました。来賓として、菊池校長先生、同窓会副会長小瀬川陽子さん、事務局から二名の方のご出席をいただき、会員四十名の出席で、盛大に開催されました。菊池校長先生より挨拶に在り、在校生の皆さんが勉学に部活動に活躍されていることをお聞きし、頼もしく思いました。小瀬川副会長さんからは、百周年の行事に向けての募金をお願いしたい旨のお話がありました。数年より遠野市在住の十名程東和支部に入っております。今回、その内の菊池悦子さんの司会と議事を進行しました。平成二十二年一度の事業報告、決算の承認を得て、平成二十三年度の事業計画、二、二十三年度の事業計画、

予算が提案され原案可決されました。前回の定期総会で東和支部の会則の改正がありました。今年三月、十年間庶務を担当して下さいました小川キヌさんがお亡くなり、弔電を送った旨、藤井支部長から報告されました。

総会終了後、東和町出身の「世界のプリマドンナ伊藤敦子さん」について、瀬川司男東和歴史資料館長さんに講演していただきました。「明治三十五年生まれの伊藤敦子さんは、二人の子供を友人に託し、昭和十二年イタリヤ、ミラノに渡り、オペラ歌手として蝶々婦人等々をヨーロッパ各国で五百以上も舞台に立ち、大活躍したそうです。昭和六十一年、八十五歳でお亡くなりされるまで、一度も日本に帰らず、二人の子供にも家族にも会わずに、イタリヤに骨を埋めた伊藤敦子は強い日本女性です。戦争がなければ、日本でも大きく取り上げられ、人々にも知られた人です。」と瀬川司男館長さんのお話しでした。講演の後、唯一残っている「子守歌」を聞かせていただきました。とてもきれいな

声でした。平和な時に生まれておればと残念に思いました。

懇親会では、踊りあり、歌あり、そして司会をした菊池悦子さんの手品で会を和やかにしていただきました。最後に瓜生会長さん作曲の「同窓会音頭」の歌の披露がありました。その歌の踊りを来賓でいらした事務局の方に教わり、全員の輪踊りで楽しい会も終りになりました。

来年の母校百周年には、貸切りバスをチャーターして、多くの会員が出席できるよう、藤井支部長、事務局スタッフも頑張っております。終りになりましたが母校の益々の躍進を御祈念申し上げます。

文芸作品



夜更けに来る人

夜更けにいつも来る人は
粉雪の舞う街路灯の下を
足早にそっと横切つて来る
オーパーの襟を立てて
人通りのない雪明かりの道を
さらさらと踏みしめて来る

その人はいつから僕の世界の中に入ってきて入り込んでいたのだったろう
不思議な生命の輪廻を
僕は解き得ぬ運命の中に思う
僕の生はすべて
「夢幻」から育まれているのだろうか

夜更けにいつも来る人は
真昼の光りを嫌うように
昼の素顔を見せなかつた
誰も寝静まった夜更けに
そっと僕の前に現れて
今日の一日を話して聞かせるのだった

菊池 潔

(南高1回)



母校だよりの

平成22年度 進路合格状況

1 進学受験状況

今年度も9割の生徒が進学を希望し、推薦入試では、国公立大学から専門学校まで、昨年を上回る100名の生徒が受験に挑みました。結果は以下のとおりとなり、ほぼ昨年を上回る良い結果を残すことができました。特に、国公立大学の推薦受験は、22名が挑み、13名が合格、実に国公立大学の推薦合格率は60%という高い合格率でした。医療系以外の専門学校を希望する生徒は前年より減少傾向にあり、四年制大学や短大を希望する生徒が増加傾向にあり、多くの生徒が受験生として頑張っています。

この大晦日と元日を除いた年末年始に研修会館(同窓会館)でセンター試験直前模試や学習会、特別講習を企画し、万全のバックアップ体制を敷いています。

主な合格先

(平成23年2月1日現在)

〈国公立大学〉

- 鋼路公立大(2) 弘前大
- (2) 岩手大(3) 岩手県立大(2) 山形大(1)
- 前橋工大大(1) 宇都宮大
- (1) 都留文科大(1) 秋田大(1)

〈私立大学〉

- 盛岡大(4) 東北学院大
- (3) 富士大(5) 日本大
- (4) 東海大(2)
- 宮城学院女子大(2) 東京女子大(1)
- 東京理科大(1) 東京女子体育大(1)
- 東北福祉大(2) 他

〈短期大学〉

- 山形県立米沢女子短大(1)
- 秋田公立美術工芸短大(1)
- 大月市立大月短大(2) 盛岡大短大(1)
- 岩手看護短大(1) 立教女学院短大(1)
- 他

〈医療系専門学校〉

- 仙台医療センター附属仙台看護助産学校(1) 岩手県立一関高等看護学院(2)
- 岩手県立富高高等看護学院(2)
- (2) 東京女子医科大看護専門学校(2) 岩手リハビリテーション学院(1)
- 慈恵第三看護専門学校(1)
- 他

〈各種専門学校〉

- 盛岡医療福祉専門学校(2)
- 専大北上福祉教育専門学校

2 就職内定状況

就職専門の希望者は昨年32名→昨年20名→今年18名と減少傾向にあります。近年の不況も関係し、進学してから就職の方が有利だという思いが浸透しているようです。内定率は8割を超えています。花巻地区の高校では最も高い内定率です。残り数名の生徒はこれから受験予定ですが、良い結果が期待されるといえます。

高卒からの就職は、以前と違い、進学することよりもかなり難しい状況です。
主な内定先
(平成23年2月1日現在)
花巻温泉(株)(1)、イーエヌ大塚製菓(株)(1)、トヨタ紡織東北(株)(2)、リコー光学(株)(3)、東北資材工業(株)(1)、New Nissei Technology Corporation(株)(2)
他



3年連続県大会優勝
沖縄インターハイ出場
(ソフトテニス女子)



創部初 県新人戦ベスト4 (ハンドボール男子)



全国選抜大会出場決定
(弓道)



沖縄インターハイ団体出場 (体操競技)



沖縄インターハイ円盤投出場 (陸上)



高総体・新人戦ともに東北大会出場 (剣道女子)



全国高総文祭2年連続出場 (囲碁将棋)

海外研修

平成22年11月29日(明)から12月6日(明)までの8日間、2学年国際科学系30名と引率教員3名 桐田、澤田、山影)は、ハワイ州オアフ島へ修学旅行を行いました。今回の海外修学旅行で生徒が変容した特筆すべき3点を述べさせていただきます。

一つ目は、自主性と積極性の飛躍及び英語力の向上です。花南祭で2年5組の生徒たちのパフォーマンスを見てこれはハワイでも何かやってくれたらと思ったり私では、生徒たちに自分たちで対面行事の出し物を準備するように指示しました。生徒たちは、後期中間審査終了後時間のない中で準備を行いました。また、発表当日も早朝練習をワイキキのホテルの近くのビーチで行い、本番ではダンス、歌、英語での学校紹介を予想以上の完成度で披露してくれました。翌日から授業参加がはまりました。本校生徒は基本的にホストファミリー

デントの受けている授業と一緒に参加しました。こっそり見に行ったブレンド先生の授業ではいきなりですが英語で立派に自己紹介はしており、それを見て私はほっとしました。レイレフア高校では私たちの訪問をビデオで撮影し校内ニュースとして制作してくれたのですが、本校生徒が何人かインタビューされ英語で受け答えしました。ホストファミリーとの別れの場面では、生徒を代表して小野寺克也君が感動的な英語で感謝の気持ちをつづりました(ちなみにその挨拶の後、教員を代表して山影先生が英語で締め括りました)。

二つ目は、異文化理解の向上と日本文化の再認識及びコミュニケーション能力の実践です。レイレフア高校では、ウククレ、(クリスマス用)クッキー、レイ(葉で作る首飾り)の授業に参加しました。慣れない本校生徒たちは、レイレフア高校の先生方と生徒さんらにサポートしてもらいながら何とかやり遂げました。

また、お返しに日本の「さくら さくら」の合唱や折り紙をお見せしました。桐田先生による「さくらさくら」の二部合唱は日本とハワイの合作で大感激でした。ホームステイでは、本校生徒は各家庭であたたかいおもてなしを受け、まるで木当の家族のように受け入れていただきました。そこでも多くのことを学んできました。

三つ目は、クラスの閉結です。困難な時間を共有した末に歓喜の瞬間を分かち合うことを今回何度経験したことでも多く学びました。

四泊のホームステイを終えてワイキキのホテルに戻るバスの中は久しぶりのクラスメートとの間でやっとなしがりです使えた日

本語で満ち溢れていました。今回の研修で私たち引率教員も生徒たちのあらたな一面を発見し生徒理解を深めました。普段は話せないことも多く語り合った生徒たちの間の人間関係は今後の困難に立ち向かう勇気を与えてくれたと思います。自主研修などの未知の状況で道に迷ったり、時間を間違えたり、いろいろな失敗はもちろんありました。

一人一人がたくましく成長しクラス全体もレベルアップできたと確信しています。まさに七転び八起き

本語で満ち溢れていました。今回の研修で私たち引率教員も生徒たちのあらたな一面を発見し生徒理解を深めました。普段は話せないことも多く語り合った生徒たちの間の人間関係は今後の困難に立ち向かう勇気を与えてくれたと思います。自主研修などの未知の状況で道に迷ったり、時間を間違えたり、いろいろな失敗はもちろんありました。



です。

修学旅行前には生徒たちに「修学旅行は、3年間で自分とクラスが大きく変わる最後のチャンスだぞ」と言いました。普段おとなしい生徒や英語でのコミュニケーションが苦手な生徒も含めて全員が英語で24時間喋らなければならぬ状況

況で数日のホームステイは無事やり遂げ何かが変わったはずで。

最後に、私についてきてくれた生徒たちと、復路をバスによる交通手段に変更することなどに協力していただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。大成功の修学旅行でした。

編集後記

「天は東北、山高く」に始まる旧制第二高等学校校歌は、作詞上井暁翠 作曲楠美恩三郎によるものです。

右のことから楠美恩三郎とは相当名のある作曲者であらうことは、想像に難くないところです。(註)楠美恩三郎 本校校歌作曲者 斯かる背景よりして、本校に寄せた当局の期待・熱意と云うべきものが痛い程伝わって参ります。

因みに作詞は、先刻ご承知のとおり松下雅雄本校初代校長であります。

さて、恒例の「座談会シリーズ」最終回は、同窓会長、各支部長による「座談会」でしたが、日頃のご苦労が随処に滲み出ており、このことに思いを致すとき、「ご参会各位に改めて深い敬意を表する次第でございます」。

本紙作成に当り快く原稿依頼に応じて下さった方々に対して感謝いたしております。 どうも有難うございました。

《編集委員》

編集委員長 高橋昭三(南2)
編集委員 久保田晴弘(南2)
鶴田やす子(南1)
藤井邦子(南3)

小瀬川陽子(南5)
葛巻久美子(南18)
鎌田里子(南25)
同窓会事務局
及川真紀(教諭)
葛尾欣児(教諭)